

速度等取締り指針

重点路線	重点区間	規制速度
北陸道	新潟中央JCT～県境	法定・80
関越道	長岡JCT～県境	法定・80
上信越道	上越JCT～県境	法定・80
磐越道	新潟中央JCT～県境	法定・80・70
日東道	新潟中央JCT～荒川胎内IC	法定・70
西バイパス	黒埼IC～曾和IC	80・60・50

★ 重点路線・区間以外であっても、取締りを行います。

新潟県の高速度道路における人身交通事故発生状況（過去3年間の7月～9月中の交通事故件数）

	新潟西～ 巻湯東	巻湯東～ 三条燕	三条燕～ 中之島見附	中之島見附～長岡JCT	西山～柏崎	龍生～糸魚川	糸魚川～親不知	
北陸道	1	1	1	2	1	2	1	9
関越道	堀之内～魚沼 2			魚沼～六日町 2	塩沢石打～湯沢 1		湯沢～県境 1	6
上信越道	上越高田～中郷 2					中郷～妙高高原 1		3
磐越道	安田～三川 1							1
日東道	新潟空港～豊栄新潟東港 1	豊栄新潟東港～聖籠新発田 1	中条～荒川胎内 1		村上瀬波温泉～村上山辺里 2			5
西バイパス	曾和～高山 6			亀貝～小新 1	小新～黒埼 6			13
合計＝37件								

- ▼ 新潟県内の高速度道路では、過去3年間の7月から9月までの3か月間に37件の人身交通事故が発生しています。
- ▼ 北陸道は、年間を通じて交通事故が多い路線で、全体の約24%を占めています。
- また、今期は、新潟西バイパスの全線にわたり、「朝夕の交通量の多い時間帯における追突事故」が多く発生しています。
- ▼ 関越道、上信越道、磐越道及び日東道は、事故発生件数は比較的小さいものの、海水浴シーズンを迎えると交通量が増加し、居眠り運転等により追突事故やガードレールに衝突する自損事故等の発生が懸念されます。
- ▼ **死亡事故発生状況(3件発生)**
- R5年＝発生なし
 - R6年＝発生なし
 - R7年＝3件発生
 - ・関越自動車道下り線(六日町IC～魚沼IC)＝1件(1名死亡)
 - ・北陸自動車道下り線(柏崎IC～西山IC)＝1件(1名死亡)
 - ・北陸自動車道上り線(糸魚川IC～親不知IC)＝1件(1名死亡)

～令和8年5月末現在～

- 交通死亡事故は1件(前年比－2件)発生しています。①関越自動車道 下り線(小千谷IC)＝1件(1名死亡)
- 人身事故は、16件(前年比－7件)発生しています。
 - ・北陸道＝3件(上り線＝1件、下り線＝2件) ・関越道＝8件(上り線＝2件、下り線＝6件) ・上信越道＝1件(上り線＝1件)
 - ・磐越道＝0件 ・日東道＝1件(上り線＝1件) ・新潟西バイパス＝3件(上り線＝1件、下り線＝2件)
- 物件事故は、1014件(前年比＋52件)と増加しています。
 - ・北陸道＝529件 ・関越道＝205件 ・磐越道＝49件 ・上信越道＝77件 ・日東道＝101件 ・新潟西バイパス＝53件

その他の交通指導取締り要点

- 各インターチェンジ入口では、「飲酒運転・携帯電話・シートベルト等」の取締りを強化します。
- 高速暴走や車間距離不保持など、いわゆる「あおり運転」に直結する悪質危険違反の取締りを強化します。
- 各路線とも朝夕の事故多発時間帯にパトカーのレッド走行(赤ランプの点灯)によるパトロール活動を強化します。

高速度道路走行時の注意事項等

- 落下物に注意してください。落下物乗上げ事故も発生していますので、前方の道路状況を確認して安全運転に努めましょう。
 - 気温が高くなるとタイヤのパンクやバーストが多く発生しています。タイヤの亀裂、空気圧などの点検をお願いします。
 - 故障や事故などで、車両が停止したら「ハザードランプ点灯・発炎筒着火・三角表示板設置」の安全措置を行った後に、ガードレールの外側など安全な場所に待避し、非常電話や110番で故障や事故の状況をお知らせください。
- 「夏の交通事故防止運動」実施期間＝7月22日(水)～7月31日(金)
- 「秋の全国交通安全運動」実施期間＝9月21日(月)～9月30日(水)